

マルキ通信

平成5年 4月

第 12 号

関西Kサークル スキークラブ

スキーシーズンを終えて

Kサークル代表幹事
谷 下 準 一

シーズン最後のサヨナラスキーツアーも全日程が好天に恵まれ、一人の事故もなく終了することができました。今回は、他のクラブの増田指導員（兵庫県）、上野指導員（奈良県）の両先生が参加され、非常に充実した講習検定会となりました。両先生はクラブの雰囲気が大変気に入られ、是非来年も参加させてほしいと言っておられました。また、クラブ員の方々の協力により、関大山の家での食事の準備、後片付け等をすみやかに行っていただきありがとうございました。技能テストに合格された方は、さらにそのうえを狙って技術を研ぎ、惜しくも不合格になられた方も来シーズンには合格されるよう頑張ってください。来シーズンもクラブから準指導員検定、テクニカルテストを受験される方が数名おられます。この方たちが合格することによってクラブに新しい指導員やテクニカル保持者が増え、奈良県連でも上位にランクされるクラブになることを願っています。

今後予定しているクラブ行事は、夏休み中に関大彦根荘または淡路島の別荘をお借りして、テニス、ウインドサーフィン等を楽しめるような計画を立てています。詳細が決まり次第ご案内を郵送いたしますので、多数の参加をお願いします。

サヨナラスキー報告

3月20から23日まで、八方尾根の関西大学山の家を宿舎にして行われました。45名の参加者は、珍しく4日連続で晴れ渡った空の下、思う存分スキーを楽しみました。

主任講師の川島先生をはじめ、お馴染みの川島ジュニア先生（特別班）、谷下先生（1班）、真来先生（2班）、そして奥神鍋スキー場から増田義則先生（3班）をお迎えした講習会は厳しくも楽しいものになりました。夜は、1日目が検定受け付け、2日目に恒例のサヨナラパーティ、3日目もシーズン最後の終わりを名残惜しんで再び酒宴と、スキーもお酒も楽しむ講習会となりました。気になる検定の結果ですが、1級は今年の正月に入会された渡辺真澄さんが見事に合格、また2級も7名の大量合格となり、Kサークルの講習会も一段とレベルアップが去れてきたようです。



特別班受講記（渡辺 直之）

先生方の特別な配慮のおかげで、特別班に参加することができました。まず、びっくりしたことは、20才代の方々のパワーと30才以上の方々のスキーに対する熱意です。川島Jr先生の適確な指導と迫力のある滑りは、最新のスキー技術に触れる事のできるすばらしい機会でした。ゼッケンをつけて滑ると転倒できます。思い切りの良いスキーをすることができました。他のクラブから参加されていたU指導員と「気楽に滑れるね。」と言いながらも

緊張して滑りました。良い充電をさせていただきました。これからも精進して、若い人たちに負けないような滑りを身につけていきたいと思っています。

【やったぜ2級合格】

佐々木 正浩

今回のKサークルでは2級合格を目指そうと、六甲山や琵琶湖バレイ、八方尾根で練習してから臨みました。1シーズンこれほどスキーに出かけたのは初めてです。こんなにスキーが好きになったのは、Kサークルの新春スキーツアーで3級に合格できたのがきっかけです。もちろん、雄大な自然の中で雪と親しみ、日常生活では味わえない風を切るスピードを体感するのは楽しいものです。しかし、級を取得することはスキーに対する情熱をさらにかきたるのように思います。

今回の八方尾根は晴天に恵まれ、最高でした。講習では2級受験班に入り、真来先生にご指導いただきました。コブや湿雪、アイスバーンなどの難しいシチュエーションでいかに滑るかというとてもハードな講習で、班の方々についていくのがやつのこと、時には顔で滑っていくこともありました。しかし、先生の親切な指導のもとで少しずつ上達していくのが自分でもわかりました。検定の時には、とにかく全力でやろうとチャレンジしました。結果発表で、川畠主任検定員に自分の名前を呼んでいただいたときには、本当に感激しました。今度は1級に挑戦です。

【Kサークルで学んだこと】

佐々木ひろみ

Kサークルではスキーを通してたくさんの方と親しくなれました。同じことに打ち込んでいる者同志、年齢など関係なく一つになれる気がしました。

夜、部屋で話し合ったとき、川畠先生がこんな話をされました。「これから年をとっていくけれど、スキーで西日本一になることを目標にしている。」と。わたしはこの話にとっても魅力を感じました。年をとるのは嫌なことだと世のなかみんな思っているのに、年をとっていくこと、スキーをしながら西日本一になることを夢としている人もいるんだ、素敵に生きているなと思いました。まだまだ未熟な私ですので、これからもKサークルを通して色々な方の話をきいていきたいです。スキーをマスターすることはもちろん、「素敵に生きること」これが私の目標です。

今回は残念ながら2級に落ちましたが、いつかきっと1級を狙いにいきます。待っていてください。

【八方は第2のふるさと】

渡辺 真澄

今回のツアー会場である八方尾根は、私の第二のふるさとといえます。大学の4年間、シーズン中にはこもりきりだった山です。大好きな水色の白馬の山。幻想的なナイターゲレンデ。そして出会った人々。また、一級の検定に挑戦し続け、ウエーデルン、ステップターンに苦しんだ思い出の地です。

そんな八方での四日間は、一級合格というすばらしいプレゼントをいただき、幕を閉じました。前回の検定での横滑り転倒事件の後遺症のためか、今回は大変な緊張でした。特に苦手なウエーデルンは、全く自分の手足ではないようで、みんなに「ロボットみたいだった。」といわれてしまいました。発表の時はあきらめていたので、合格と聞いても茫然、何も言えませんでした。そこで、この場をお借りしまして皆様に、そして八方の山に「本当にありがとうございました。」とお礼を言わせていただきます。

【お邪魔虫3人楽しませていただきました】 指導員（兵庫県） 増田 義則

久しぶりに八方でスキーをさせていただきありがとうございました。幸い4日間とも快晴に恵まれ、顔には大きな土産（日焼け）、体には心地よい疲労感をいただいて帰宅しました。

会長の川島先生はじめ、Kサークルの皆さんには大変お世話になりました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

二十歳代に訪れたときには、リフトは山麓と兎平、パノラマ、黒菱、リーゼンにシングルがあるだけで、早朝よりゴンドラリフトに並んで乗らなければなりませんでした。時代が変わり、リフトといえばペアが当たり前で、3人4人乗りのクワット、さらに2人乗りのクワットまで出現するようになりました。朝一番のリーゼンコース、夜私達が休んでいる間に整備され、スピードを出しても全く怖くないような斜面に変身していました。3日間ゴンドラ始業に合わせての滑走は、何ともいえない爽快な気分に入ることができました。それに黒菱のコブも以前と同じような顔をしているように思えます。最終日八方池までの登山も十分に堪能させていただき、みみずくの湯で汗を流し帰路につきました。

昨今、スキークラブの運営が岐路に立たされていると言われていますが、この関西Kサークルにおきましては、目を見張る興隆をみることができます。手軽に都会でスキーが楽しめるように7月には千葉の船橋に490Mの屋内スキー場、大阪北港にも計画がなされているとききますが、自然のスキーに勝るものはありません。山岳スキーのメッカである八方をステーションにできるKサークル、いい指導者である先生方、世話好きの会員の皆さんに心より感謝いたします。またお会いできる日を楽しみにして シーハイル !

【スキーのために】

保田 雅史

スキーのために色々なことを実行しております。まず、やたらとどこでもステップを踏んでいます。年中です。ふと見た人はなんと落ち着きの無いでぶ男だと思ってしまうでしょう。次に、シーズンイン前に車のタイヤをスタッドレスに履きかえますが、それまでギヤーとタイヤを鳴らしていた運転が、少しでもタイヤを減らさない運転に変わります。ちょっとでも溝の深いタイヤで安全にスキー場に着くためです。その次に、シーズン前からは、見合いの話をすべて断ります。どっちみち相手からも断られて同じですけれどね。さらにシーズン中は、鼻毛を切りません。寒い中で少しでも暖かい空気を吸って体力を残すためです。勤務先の学校の生徒は、冬になると私のことを「鼻毛」と呼びます。

この程度のあさはかな考えだからスキーがうまくならないのでしょうかね。そこで来年は、10Kgダイエットの姿で新春スキーに臨むことをお約束しましょう。それで何が変わるのとお思いでしょう。私には秘策があるのです。ではまた正月にお会いしましょう。

【今から来シーズンが楽しみ】

八木 義之

今回のサミナラスキーでKサークルのスキーツアーへの参加は2回目になります。前回の新春スキーツアーでは仕事のため検定を受けることが出来なかったのですが、今回は天気にも恵まれ、風邪で体が重かったにもかかわらず楽しく皆さんとスキーが出来、また検定にも合格できたことは大きな収穫でした。また、八方の山の家という特殊な環境のもとで、朝早くから気持ちよくスキーができて最高でした。

最後に、先生方の熱心なご指導とクラブ員の方々のスキーに対する情熱を学ぶことができ、来シーズンが一層楽しみになりました。ご迷惑とは思いますが、次回もどうぞよろしく願いたします。

(このページは前号で掲載できなかった方々の原稿です。遅くなって申し訳ありませんでした。また今回も掲載できなかった方には、心からお詫びを申し上げます。)

【もっとスキーに行きたいよ!】

大澤 みつ子

今年もKサークルのお正月スキーに参加できたことをとても喜んでおります。講師の先生方どうもありがとうございました。ただ、わたしはこのお正月スキーに参加するだけで、後には行けない年が多いのです。それで一級を何度か受けてはみたものの、川島先生の「滑りこみが足りない。」とのお言葉で、いつも不合格になってしまいます。そして今年も不合格になってしまいました。私はこれからも一級受験の班にいます。(いるつもりです。)ですから、一級を目指している方は、私の顔を覚えておいてください。かならず同じ班になれますので。そしてお友達になりましょう。でも本当のところは、もっとスキーに行つて、どんどん滑りたいのですけどね。

【新春スキーに参加して】

乾 千賀子

学生時代とは違い社会人になると、大勢の人たちと合宿のようにどこかへ行くという機会がない中で、今回のスキーツアーはとても良い体験でした。何事もマスターするのが遅い私ですが、(特にスポーツに関して)少しでも上達したいと思い、このスキーに参加させていただきました。はじめのうちはなかなか教えていただいたとおりに滑ることが出来なくて、そのうえ何度も転んだりしてつらかったのですが、先生方のおかげで4級も無事合格し、満足感でいっぱいです。今度はまた3級に挑戦したいなと思っているくらいです。

これを機会にまた色々な行事に参加させてください。他の人に遅れをとらないように頑張りたいと思います。

最後になりましたが、先生方どうもありがとうございました。今後ともよろしく願ひいたします。

【Kサークルとの出会い】

五十嵐 成和

私がKサークルのスキーツアーに参加させていただいたのは、今回で2度目です。1度目が平成4年度サヨナラスキー、そして2度目が平成5年度新春スキーです。

新春スキーに参加させていただくようになったきっかけですが、私があるスキーショップに買物に出掛けたとき、中高時代の恩師である川島先生がいらっしゃるではありませんか。そこで川島先生にお声をかけさせていただいたところ、川島先生が会長をしていらっしゃるサークルがあり、そのサークルでツアーをしているのでスキーが本当に好きなら参加してみないかと言われ、スキー狂の私は是非にと言つて参加させていただきました。

Kサークルの皆さんは、Kサークルの由来どおり「ナイト」と「(スキー)狂い」の集まりで、私は1度ツアーに参加させていただいただけでKサークルが好きになり、すぐ会員にさせていただきました。

Kサークルの一員に加えさせていただいたのですから、今後は皆さんと力を合わせてKサークルが発展するように頑張ります。

終わりに (編者)

今回のサヨナラスキーは例年になく好天に恵まれ、参加者全員日焼けのあとをくつきり残して帰ってきました。次のスキーシーズンまでは少し時間がありますが、本当のスキー通はもう準備をはじめているそうです。あなたはいかがですか?みんなに遅れをとらぬように!